

## 新型コロナウイルス感染症に関する町長メッセージ【令和2年5月5日】

これまで、新型コロナウイルスの感染防止対策のために、生活するうえで、ご不便をおかけしているなか、町民のみなさまのご理解や温かいご支援をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。町民のみなさまの一人ひとりの行動が、ご自身の感染リスクを下げ、大切な方々を守り、本町の感染拡大防止へとつながります。

昨日（令和2年5月4日）、新型コロナウイルス感染症に関する安倍内閣総理大臣による記者会見が行われました。

安倍総理（新型コロナウイルス感染症対策本部長）は、新型コロナウイルスの感染収束をめざし、緊急事態宣言の期限を5月6日から31日まで延長することとされました。対象は引き続き全47都道府県で、延長から2週間後をめどに専門家による中間評価を行い、その後の対応を再検討する方針が出されました。

このことを踏まえて、本日（令和2年5月5日）、本町では新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、本町の対応を協議しました。

町内事業所の皆さんがこれまでにない厳しい経営状況になっていることは十分承知しており、地域の自粛の期間が長くなれば、さらに地域の経済活動に大きな影響を与えてしまいます。国の経済対策として決定をされました「特別定額給付金」につきましては、一日も早くみなさまの手元にお配りできるよう、庁内でプロジェクトチーム体制をつくり、事務を進めているところであります。また、みなさまの生活を支えるための支援や、事業を続けていただくための支援につきましても検討を進めており、今年度の補正予算にて対応してまいりたいと考えているところであります。

引き続き、ご不便をおかけすることとなりますが、本町から新型コロナウイルスの感染を拡大させない思いを町民のみなさまと共有しながら、この難局を乗り越えていきたいと考えておりますので、ご理解のほど、よろしく願いいたします。

政府や専門家からは、この感染症への対応は、長丁場を覚悟するよう言われています。個人レベルでは、3密の回避、身体的距離の確保、マスクの着用や手指衛生の徹底を、事業者のみなさまにおいてはその対策の徹底を、今までの生活ではなかった「新しい生活様式」を継続することが求められています。

奈良県は、近畿の大都市圏に隣接し、本町もその生活圏に位置します。近畿では複数の府県が「特定警戒都道府県」に指定されており、大都市圏の感染の影響を受ける地域です。常にリスクと向き合っていることを認識しながら、行動することが大切です。命を守り、未来へつなぐためにも、今すべきことを町民一丸となって、この難局を乗り越えましょう。

大淀町新型コロナウイルス感染症対策本部長

（大淀町長）岡 下 守 正